



第一章

またも豪雨が町に

山都町には一級河川の緑川、五ヶ瀬川があり、2つの川に流れ込む数多くの支流があります。無数の川は九州脊梁山地の険しい山々や阿蘇外輪山の裾野にあたる町のいたるところに谷を刻み、台風の襲来も多く、これまで度々、大雨による水害や土砂被害に見舞われてきました。記憶に新しいところでは昭和63年5月3日、平成18年6月26日に記録的な被害が発生しています。

そして平成28年6月、熊本地震からの復旧がようやく軌道に乗りかけた矢先、今度は豪雨が町を襲いました。住宅への浸水被害のほか、道路被害そして、町の基幹産業である農林業の生産基盤にも甚大な被害をもたらしました。



多くの箇所です砂崩れが発生



情報収集するバイク隊



道路が崩壊し、通行止めに

住居

河川の氾濫で濁流が住宅内に流れ込み、床上まで泥で覆い尽くされた家屋もありました。
また、裏山が崩れ危険な状態に陥った住宅もありました。



白小野地区



木原谷地区



白小野地区



白小野地区



猿渡地区



上寺地区



千滝地区



藤木地区



長原地区



城原地区



福祉・公共施設

高齢者生産活動センターは流れ込んだ泥で埋め尽くされました。
また中央グラウンドでは法面が崩壊し、グラウンドの一部が陥没、
照明灯にも被害が発生しました。

高齢者
生産活動
センター



中央グラウンド



文化財・歴史的建造物等

熊本地震で被害を受けた通潤橋は、豪雨による被害はなかったものの、
周辺で被害が発生しました。

国指定重要文化財
通潤橋



瀬峰橋



河川

町内を流れるいくつかの川で水位が上昇、堤防を破壊するなどし、一部では溢れ出した水が農地や住居に襲いかかりました。



名ヶ川（白小野地区）



名ヶ川（白小野地区）



笹原川（小笹地区）



万坂川（万坂地区）



千滝川（上寺地区）



五老ヶ滝川（下市地区）



名ヶ川（白小野地区）



名ヶ川（白小野地区）



緑川（緑川地区）



名ヶ川（白小野地区）



名ヶ川（白小野地区）



大矢川・竜宮滝（上川井野地区）



大矢川・竜宮滝（上川井野地区）



大矢川・竜宮滝（上川井野地区）



道路

町内を通る国道、県道、町道で土砂崩れ、路肩の崩壊などが発生。
熊本地震に続き、今回の豪雨でも通行止めが随所で起こり、
町民の暮らしに大きな影響を及ぼしたのです。



町道藤木瀬峰線（猿渡地区）



町道名ヶ長谷線（白小野地区）



町道白小野鶴越線（白小野地区）



国道 218 号（白小野地区）



町道小川杉の鶴線（御所地区）



県道横野矢部線（猿渡地区）



町道新小田吉線（長原地区）



町道千滝鮎の瀬線（長原地区）



町道荒谷線（荒谷地区）



町道白小野鶴越線（荒谷地区）



県道稲生野甲佐線（島木地区）



町道津留支線（津留地区）



県道南田内大臣線（白藤地区）



県道清和砥用線（目丸地区）



町道津留支線（津留地区）



町道津留支線（津留地区）



県道清和砥用線（津留地区）



農地

農地の被害も深刻でした。

島木地区や三ヶ地区をはじめ、町内の多くの地区で田や畑が大きく崩れたほか、河川の氾濫で水没した田んぼもありました。



島木地区



島木地区



島木地区



三ヶ地区



島木地区



島木地区



島木地区



黒川地区



入佐地区



北中島地区



白藤地区



金内地区



小笹地区



長田地区



勢井地区



男成地区



御所地区



葛原地区



杉木地区



猿渡地区



白小野地区



下名連石地区



万坂地区



観光施設

熊本地震に続き、緑仙峡や青葉の瀬などの観光施設でも深刻な被害が発生しました。

猿ヶ城
キャンプ村



青葉の瀬
交流促進施設

緑仙峡
フィッシングパーク



五老ヶ滝周辺
遊歩道



内大臣橋トイレ



そよ風パーク（レストラン萌）



見晴山公園



第二章

豪雨・水害にめげず

またもや町を襲った豪雨、しかも熊本地震発生からわずか2ヶ月後のことに町の人々は大きな衝撃を受けました。けれども山都町は、度重なる水害、大雨による被害を受けても、そのたびに立ち直ってきた町です。町の人々は、今回も力強く立ち上がりました。住居や施設そして生活基盤である道路や農地をひとつひとつ復旧し、着実に一步一步進み始めています。自然豊かなふるさとでの幸せを守るために。



再建

道路

今回の豪雨で大きな影響があったのが道路への被害。
暮らしの場、仕事場への連絡路の確保のため
崩落した土砂を取り除き、崩れた法面や路肩を補修・補強しました。

町道白小野鶴越線(津留地区)



before



after

町道藤木瀬峰線(猿渡地区)



before



after

町道名連川線(下名連石地区)



before



after

町道横野矢部線(猿渡地区)



before



after

熊本地震、そして豪雨災害で被害を受けた道路の再建は、町民の暮らしを守るための喫緊の課題です。
復旧は、各地で着々と進んでいます。

再建

河川

水路

山間地で谷が多い本町では、ひとたび猛烈な雨が降ると、普段は穏やかな川や水路に水が溢れ、牙を剥きます。またいつ襲ってくるかわからない自然災害に備えて、崩れた川や水路の土手、堤防などの復旧工事が急ピッチで進められました。

名ヶ川(白小野地区)



before



after

万坂地区



before



after

護岸の侵食・崩壊、背後地の家屋・耕作地に浸水被害が発生した白小野地区の名ヶ川では豪雨でえぐり取られた護岸をブロックで新たに築く工事が進行、築堤が崩壊した万坂地区の水路ではブロック積などで築堤の復旧工事が完了、他の河川・水路でも着々と工事が進められています。

再建

農地

ため池

深刻な影響を受けた農地や農業関連施設。本町の基幹産業である農業を守るために崩れた棚田やため池の復旧が行われました。

下名連石地区



before



after

白石地区



before



after

農地の被害が多かったのが、地盤の緩みによる棚田・畑の土手、法面の崩落やため池の築堤の崩落です。これらの土手、堤もブロック積などで法面、築堤を元に戻し固めるなど、復旧工事が順調に進んでいます。